

# 賀 正

とれいんとれいん

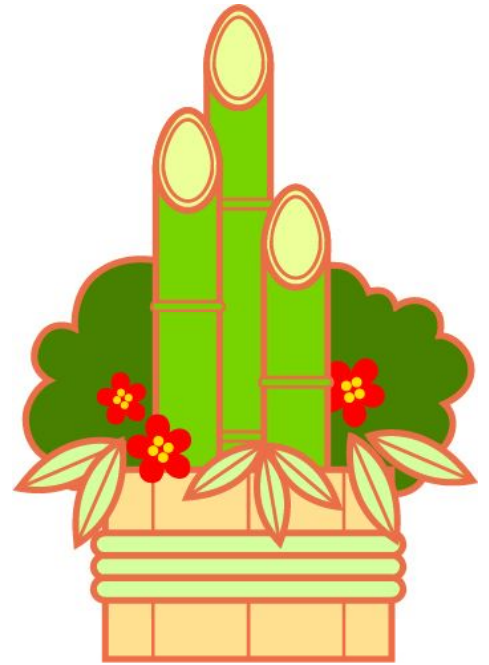
2009年1月1日

明けましておめでとうございます。

去年は、分会活動に御協力ありがとうございました。特に「蒲郡駅事件」の完全無罪と早期職場復帰に向けた取り組みに感謝を申し上げます。本年も更に奮闘していきます。

アメリカのサブプライムローンに始まった金融危機は世界恐慌の引き金となり、日本に於いても業績の悪化を理由に弱い立場の労働者は、雇用打ち切りなどが始まっています。企業は自らの腹を痛めることなく、全ての犠牲を労働者に押しつけようとしています。

このような企業体質は神領運輸区においても様々な形で現れています。堀部前分会長は受からない試験で不合格という烙印を押され、大曾根駅に不当転勤させられました。分会運動の弱体化を狙った策動です。私たちは当然、抗議集会を開催して怒りを一つにしてきました。



最近、会社の攻撃は組合所属に関係なく掛けられてきています。些細なミスを手端緒として長期に渡り日勤再教育を行っています。「**基本動作不良。完全なるルール違反である**」の単語を繰り返し、訓練の中でミスを取り上げ、ことさら大きくしているやり方は堀部前分会長を職場から追いやった手法そのものです。「**振り返り**」と称した、**飼い殺し日勤で毎日レポート書かせ、納得するまで再教育に入らない**など、パワハラ・職権乱用が横行しています。安全のための教育ではなく、社員管理のための教育、そのため人間性をも破棄されるような教育がされています。

駅異動も恣意的な感情から人選されたと噂されています。自らの感情で社員に圧力をかけ、パワハラを行っていることを、誰もとがめない。自分のしていることがいかに非人間的かを知らない本人は、現代版『裸の王様』といえます。王様の周りには太鼓持ちが取り巻いています。王様は区員が何を話しているか不安で仕方がない様子です。なぜなら王様が裸なのを本人以外誰もが知っています。

なぜ私たちは人間性を否定されるのでしょうか。

なぜ私たちは自分の気持ちが言えないのでしょうか。

このような職場に未来はない。東海労神領分会は今年も闘います。人間性を持って働くことのできる職場を目指して連帯して闘います。昨年同様の応援をよろしくお願いたします。

JR東海労神領分会